

スポーツコミュニティの形成促進

23年度予算額 570百万円

- ・「新しい公共」を担うコミュニティの拠点の育成
- ・地域スポーツとトップスポーツの好循環の創出

⇒ 総合型クラブを中心とした地域スポーツ環境の充実・発展

総合型クラブ



スポーツ少年団



学校（運動部活動）



小学校（体育）



①巡回指導（3時間×8回／月）
★ ※拠点クラブ以外での指導

★ トップアスリート (25万円／月)

★ アシスタントコーチ (17万円／月)



③体育の授業等の支援
★ (5時間×5日×4週／月)

★ 小学校体育活動コーディネーター



(2,650円／時間)

アスリートスタッフ

拠点クラブ
(NPO法人)

連絡・調整

②プロジェクトリーダー (16万円／月)



企画・立案

1拠点クラブあたりの予算額
3,500万円

うち、①1,000万円
②2,100万円
③ 200万円

★ 地域課題解決の取組 (200万円)

- ・学校、地域連携
- ・健康増進
- ・体力向上
- ・子育て支援 など

自主事業化モデル例 (巡回指導)

一定期間の国費措置の終了後も自主事業として巡回指導を実施するためのモデル例

- ・参加料金
3,000円／月
- ・参加人数
30人
- ・教室数
3教室／月
(教室あたり週1回3時間)

年間収入
3,240,000円

※H23予算案における
トップアスリートの謝金・
旅費の額: 約350万円

※国費は★下線部分に支出